

(概要)

デジタルアーカイブフェス 2022 – ジャパンサーチ・デイ ～「デジタルアーカイブを日常にする」アーカイブ機関の新たな活動の展開～

コロナ禍においては、様々なデジタルアーカイブ資源の潜在需要が顕在化し、あらゆる分野の創作活動や知的活動を支えるデジタルアーカイブの役割が、改めて広く認識されました。

我が国におけるデジタルアーカイブ利活用の分野横断プラットフォームであるジャパンサーチは、2020年に正式版が公開され、以後、これを核として、各分野のデジタルアーカイブ活動を総合的に推進していくよう、2021年に「ジャパンサーチ戦略方針 2021-2025」が、本年にはその「アクションプラン」及び「各分野の工程表」が策定・公表されています。各アーカイブ機関においては、これらの方針等の趣旨も踏まえながら、デジタルアーカイブの拡充と、その利活用促進に向けた取組を、さらに積極的に展開していくことが期待されています。

このような中、産学官の関係者が一堂に会し、デジタルアーカイブ日本の推進に向けた先進事例の紹介や好取組の顕彰等を行う「デジタルアーカイブフェス」を開催します。また、当日は、ジャパンサーチのギャラリーの共同編集機能を使った体験型ワークショップを、ジャパンサーチ上の特設ワークスペースにて開催いたします。

デジタルアーカイブが日常に溶け込んだ豊かな創造的社会的実現を目指して、本イベントを通じ、アーカイブ機関の新たな活動展開に資する情報の共有を図るとともに、デジタルアーカイブ利活用の輪をより一層広げていくよう、幅広い関係者の連携促進を図ります。

1. シンポジウムメニュー

- 日 時：2022年8月25日（木） 10:00～17:30
開催形式：オンライン
配信場所：国立国会図書館会議室（出演者はリモート参加）
参加費：無料
定員：web イベントツールの規定に沿う
主催：内閣府知的財産戦略推進事務局／国立国会図書館（共催）

〈プログラム〉 ※事例報告の発表者は変更される場合があります／敬称略

(1) 開会

- 主催者挨拶 デジタルアーカイブジャパン推進委員会議長 内閣府副大臣

【第I部】基調講演・表彰等

(2) 基調講演

- アナログ歴史家とデジタルアーカイブの出会い～ジャパンサーチへの期待
歴史家／国際日本文化研究センター教授 磯田 道史

(3) デジタルアーカイブ社会の実現にむけた取組について

- 内閣府知的財産戦略推進事務局参事官 塩原 誠志

(概要)

(4) デジタルアーカイブジャパンアワード 2022 (仮称) 表彰

進行：実務者検討委員会座長／国立情報学研究所名誉教授 高野 明彦

～休憩～

(ギャラリー作成ハンズオンワークショップ解説①)

【第Ⅱ部】ジャパンサーチに関するセッション

(5) ジャパンサーチ・アクションプラン 2021-2025 について

国立国会図書館 電子情報部 主任司書 徳原 直子

(6) ジャパンサーチとの連携について (概要と連携方法等)

国立国会図書館 電子情報部電子情報企画課 副主査 眞籠 聖

(7) ジャパンサーチ連携事例・活用事例報告

○全国美術館会議／東京富士美術館「東京富士美術館収蔵品データベース」

全国美術館会議 情報/資料研究部会幹事、東京富士美術館 学芸課長 鴨木 年泰

○日本写真保存センター「写真原版データベース」

日本写真保存センター調査員 河原 健一郎

○沖縄県南城市教育委員会「なんじょうデジタルアーカイブ」

なんじょうデジタルアーカイブ・デジタルアーカイブ専門員 田村 卓也

○慶応義塾大学「Keio Object Hub」

慶応義塾ミュージアム・commons専任講師 本間 友

慶応義塾ミュージアム・commons特任助教 宮北 剛己

○国立教育政策研究所教育図書館「教育図書館貴重資料デジタルコレクションほか」

国立教育政策研究所 研究企画開発部教育研究情報推進室 総括研究官 江草 由佳

～休憩～

(ギャラリー作成ハンズオンワークショップ解説②)

【第Ⅲ部】デジタルアーカイブ活動に関するセッション

(8) 産業界におけるデジタルアーカイブ活動の活性化と利活用の拡大に向けて

○清水建設株式会社

技術研究所 未来創造技術センター デジタル X グループ 主任研究員 松本 隆史

○株式会社集英社

デジタル事業部 次長 岡本 正史

○凸版印刷株式会社

文化事業推進本部 アライアンス開発部 アライアンス開発 T 担当課長 寺師 太郎

(9) ジャパンサーチワークショップ報告～ギャラリー共同制作の紹介

講師：東京大学大学院学際情報学府／TRC-ADEAC 特任研究員 大井 将生

(概要)

(10) 閉会

○主催者挨拶

国立国会図書館 副館長 片山 信子

2. ワークショップメニュー

開催時間：8月25日(木) 10:00~17:30 (シンポジウムメニュー開催時間中解放)

※講師による解説を2回実施 (①12:10~12:40、②15:10~15:40)

開催場所：ジャパンサーチ特設ワークスペース

定員：なし (どなたでも参加できます)

参加費：無料

講師：東京大学大学院学際情報学府/TRC-ADEAC 特任研究員 大井 将生

成城学園初等学校教諭 上村 日向子

慶應義塾高等学校教諭 高橋 傑

〈内容〉

- ジャパンサーチでは、検索機能のほか、検索機能を利用せずにコンテンツを楽しむことができるよう、特定のテーマごとにコンテンツを紹介するギャラリー (電子展覧会) を提供しています。
- ギャラリー機能は、ジャパンサーチ連携機関が作成可能で、現在420以上のテーマのギャラリーが公開されています。
- デジタルアーカイブフェス2022では、当ギャラリーと同じような電子展覧会を参加者が共同制作できる、マイギャラリー機能を使った体験型イベントを開催します。
- オンラインの作業場 (ワークスペース) 上に、あらかじめ複数のテーマのギャラリーを用意し、参加者が興味のあるギャラリー上に、ジャパンサーチの連携コンテンツをキュレーションし、共同でギャラリーを制作する体験型イベントです。
- 当日は、実際に教育現場でジャパンサーチを利用している先生方に講師としてご参加いただき、参加者の質問にも答えながら、ギャラリーの完成を目指します。
- イベント終了後は、ジャパンサーチ連携機関に手直しいただき、ある程度のクオリティに到達した段階で、一般公開をする予定です。